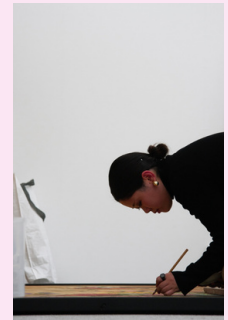


2024年度 神戸財団賞受賞者コメント

美術学部 日本画専攻 樋口絢女

この度は神戸財団賞をいただき誠にありがとうございます。私が制作した作品には、「誰かのために咲くのではなく、与えられた場所でありのままに咲きなさい」という意味が込められています。その言葉に感銘を受け、私も作品を通して多くのことを学ばせて頂きました。今後も作家として命の赴くままに、無心に絵を描いていければいいと思います。



美術学部 油画専攻 飯田萌伽

この度は神戸財団賞という大変名誉ある賞を頂きましたこと、誠に光栄に存じます。私にとって絵画とは何かという問いと向き合ってきた4年間の集大成として、これまでの制作は間違っていなかったのだと感じることができました。頂いた賞に恥じぬよう、より一層精進して参ります。ありがとうございました。

美術研究科 美術専攻 彫刻領域 齋藤 勇介

この度は神戸財団賞をいただき誠に光栄です。このような素晴らしい賞をいただけたのは、先生方や友人、そして作品を体験してくれた皆さんのおかげです。この賞を励みにして、これからも精一杯頑張ります。ありがとうございました。

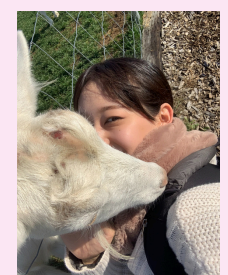


美術学部 芸術学専攻 近藤 歩

この度は、神戸財団賞という栄誉ある賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。論文執筆にあたっては、新しい視点を追究するために試行錯誤を繰り返し、中々ゴールの見えない日々でした。しかし絵画に真摯に向き合う中で、今まで見えてこなかった作品の真髓に触れることが出来たように思います。ここまで書き上げることが出来たのも、最後まで熱心にご指導をしてくださった先生方をはじめ、支えてくださった方々のおかげです。頂いた賞を励みに、今後とも精進して参ります。ありがとうございました。

美術学部 陶磁専攻 竹田まりか

この度は神戸財団賞をいただき大変嬉しく思います。ご指導いただいた先生方をはじめ、日頃より支えてくださった多くの皆様のお力添えがあってこそその受賞と、深く感謝しています。卒業制作の花器では、人の温かい気持ちや記憶に寄り添うデザインを目指して取り組みました。今回の受賞を励みに、今後とも制作に真摯に向き合い、より一層精進してまいります。



音楽学部 作曲専攻 作曲コース 岩島大



この度は神戸財団賞を賜り、幸甚に存じます。また、ご指導いただいた先生方をはじめ、支えてくださった多くの方々にお礼申し上げます。
大学入学から意識し続けていることの一つに「同時代性」というものがあります。いわば「この時代にこの作品を作ることを意味を持たせたい」と思いながら制作を続けた4年間でした。卒業作品「CAMPAIGN 24」もまた、そうあれかしと願いつつ作り上げた作品です。
芸術という世界は茫漠な海を航海するようなもので答えこそありませんが、この度このような賞を頂き、ひとつの灯台の灯火の下に漕ぎ着いたような心持ちです。この賞を励みとし、より遠くへと船を出すため努力して参る所存です。

音楽学部 作曲専攻 音楽学コース 岩瀬 さくら

神戸財団賞に選出いただき、幸甚に存じます。卒業論文の執筆にあたり、ご指導賜りました先生方、お力添えをいただいた皆様に深謝いたします。レコード盤に囲まれ、歌謡曲の研究に没頭することができた日々は、私にとって至福の時でした。この賞を励みに、今後より一層精進してまいります。この度は誠にありがとうございました。



音楽研究科 音楽専攻 声楽領域 姫田美優

この度は、神戸財団賞をいただき誠にありがとうございます。
大学院での2年間、多くの素晴らしい出会いに恵まれました。これまで私の学びを支えてくださった先生方、苦しい時に寄り添い、励ましてくれた友人たち、そしていつも応援してくれた家族には、感謝の気持ちでいっぱいです。周りの方々の支えがなければ、乗り越えられなかったと思います。今後も愛知県立芸術大学で得た知識と経験を大切に、多くの人と触れ合い、さまざまな経験を積みながら、真摯に歌い続けたいです。このような素晴らしい賞をいただけたことを励みに、今後も一層精進してまいります。



音楽研究科 音楽専攻 鍵盤楽器領域 三島加蓮

この度は、このような名誉ある賞を頂き、誠に光栄に存じます。
愛知県立芸術大学では学部から通して6年間、森の中の静かで素晴らしい環境の中、大変多くのことを学ばせて頂きました。この6年間は、熱心に指導して下さった先生、切磋琢磨し合える友人、先輩や後輩、支えてくれた両親の存在があつてのものだと感じております。
春からは新しい環境での生活になりますが、音楽への愛を忘れず、この先も音楽と共に生きていけるよう、より一層精進してまいります。



音楽研究科 音楽専攻 弦楽器領域 高東典央

この度は、名誉ある神戸財団賞をいただき、誠にありがとうございます。
愛知県立芸術大学では、学部から大学院までの6年間お世話になりました。地元・神戸を離れ、一人暮らしをしながらの大学生活の中で、周囲との実力差に悩むことも多々ありましたが、共に切磋琢磨する仲間たちと出会い、数多くの学びを得ることができたことは、私にとって大きな喜びです。
入学当初、実力不足が目立った私ですが、先生方や先輩方、友人、そして家族など、多くの方々に支えられ、今の自分があると感じております。
今後も皆様への感謝の気持ちを忘れず、愛知県立芸術大学の名を広められるような人間になるべく、さらに精進を重ねてまいります。



音楽学部 器楽専攻 管打楽器コース 野々笑莉

この度は大変名誉ある神戸財団賞を賜りまして誠にありがとうございます。身に余る光栄でございます。熱心で丁寧にご指導して下さる先生方、切磋琢磨して寄り添い合う仲間、いつも支えてくれる家族、応援して下さる多くの方々へ心より感謝申し上げます。
愛知県立芸術大学は、緑豊かな自然の中でのびのびと多くのことを学べる環境があり、大変濃い4年間を過ごさせていただきました。
これからも学んできたことを生かしながら、新たな挑戦もして、自分と音楽と向き合う時間を大切に、より一層精進してまいります。

